

佐世保市立清水小学校

〒857-0031

佐世保市保立町10番1号

校長 迎 和人

児童数 416名

学級数 17学級



《めざす子ども像》

(し) しっかり考える子 (み) 自らよく行う子 (ず) すこやかな子

1 目的

(1) 学力向上、よりよい学校生活を送るための調査及び相談活動

教師の視点、親の視点に加え、各種調査及び相談活動を含めるなど多方面から子どもを分析し、支えることで、子どものよりよい学校生活の充実に努める。

(2) 地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の創造

地域とともに歩む学校づくりをめざして、地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動を充実させるとともに、地域を愛し、地域に貢献できる子どもの育成を図る。

(3) 校舎の特色を生かした環境美化活動、ボランティア活動の充実

オープンスペースや校舎の配置を生かした環境整備、環境美化に努める。

2 実践内容

(1) 算数科教育の充実

本校では「わかる喜び・できる楽しさを実感し、主体的に学ぶ清水っ子の育成」を研究主題に、副主題を「数学的な見方・考え方を深める算数科学習を通して」と設定し、研究を深めた。昨年度の研究を踏襲しさらに深化させるために「わかる喜び・できる楽しさを実感する授業」「視覚化・焦点化・共有化」を踏まえ、「学びを深める場の設定」「説明力（国語力）の向上」を加えた算数科の授業づくりに取り組んだ。



授業研究については、主に「（対話による学びの深化）」の手立てについて研究を深め、基本的な授業スタイルを確立してきた。学びを深めるために、清水タイムの充実、学習規律や家庭学習の徹底などを図った。

環境整備については、家庭学習チェックカードや自主学習への取組の充実など、基本的な学習の進め方について整理することができた。

（２）地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の創造

① １学年 【もりのわくわくランド（生活科）】

２年生から招待された「おもちゃランド」の経験を生かし、１年生が幼稚園児を招待して、生活科の秋探しの学習で集めた材料をもとに手作りおもちゃで遊びながら交流を行った。幼稚園児との関わりを通して、１年生としての自覚の高まりが見られた。



② ２学年 【レッツゴー 町たんけん（生活科）】

校区内の町たんけんに取り組んだ。普段自分たちが生活している地域のよさを発見することと地域の人とのふれ合いをねらいに、場所ごとのグループづくりを行い、探検に取り組んだ。「梅田コース」「俵町コース」「宮田町コース」に分かれ、お店や公園、自然などに目をむけ、調べ活動に取り組み、調べたことを絵地図にまとめた。



③ 3学年 【バリアフリーについて知ろう（総合的な学習の時間）】

地域や身の回りにある福祉について考えて課題をもち、バリアフリー施設を探したり、タブレットを使って調べたり、シニア体験をしたりして、学んだことをグループごとにまとめることができた。相手の立場になって考えることの必要性和、すべての人が自由に出かけて移動することができるようにさまざまなバリアフリーが工夫されていることに気づくことができた。



④ 4学年 【清水エコ作戦（総合的な学習の時間）】

自分たちにできるエコ活動について調べてスライドにまとめ、実践した。エコ作戦を通してエネルギーや環境の問題点に気づき、課題や解決方法を考え、実践することができた。



⑤ 5学年 【夢に向かって進もう プロジェクト（総合的な学習の時間）】

6種類の職業についてゲストティーチャーから職業講話をしていただいた。また、タブレットを使って学んだことをまとめることを通して、自分が将来就きたい職業について考えるとともに将来に憧れをもつことができるよい機会になった。



⑥ 6学年 【SDGsについて考えよう（総合的な学習の時間）】

SDGsの17のテーマに分かれ、調べ学習を進め、児童自らが取り組めることを考え、1年間実践してきた。また、実践したことをタブレットを使ってスライドにまとめ、保護者や5年生に対し発表した。



3 さいごに

学校教育目標及び重点目標「確かな学力向上と定着」「家庭・地域との連携」をめざし、学力向上、地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動に取り組んでいる。コロナ禍で教育活動に制限がかかる中ではあったが、活動内容や方法を工夫して取組を継続することによって、児童は地域のよさを実感し、たくさんの地域の方々に支えられていることに気づいた。そして、感謝の気持ちをもつとともに、自分たちのふるさとを大切にしていこうとする気持ちも育ちつつある。今後もさらなる充実、発展を目指して実践を継続していきたい。